

水と私

「出前講座で学習

水のありがたさを実感」



「あおば学級」

専任指導員 沖田 秀児さん

川上 洋子さん

藤原 銚子さん

今日は、水道事業についての出前講座を受講された、苦小牧市学校適応指導教室「あおば学級」をお訪ねし、代表して専任指導員 沖田秀児さんにお話しを伺いました。

「あおば学級」は、市内の学校に在籍する学校不適応の児童生徒に対して、学習指導・集団への適応指導を中心に、

原籍校への復帰を促すことを目的に開設されています。

基本的には、午前2時間を学習時間とし、個々の能力にあつた自学自習を午後の1時間は、児童生徒の交流を最大の目標に、読書・軽スポーツ・百人一首等、変化をもたせた活動を設定しているそうです。

又、学習活動の一環として、市で行っている出前講座を年に数回授業に取り入れたり、校外学習も実施しているそうです。

今年度の最初の出前講座は、水道事業の紹介・実験（水道水の作り方）・おいしい水とは・・・と題して、錦多峰浄水場職員3人を講師として6月に行われました。

「今回の出前講座から、私たち指導員も含め児童生徒たちも、水に関するたくさん知識を得ることができました。

苦小牧には2カ所の浄水場があること、それぞれの浄水場での処理の仕方

に違いがあることなど興味深いものでした。

また、高丘浄水場・錦多峰浄水場・あおば学級水道水の三つの水を当てる「利き水実験」では、臭い・味・透明度等から判断するわけですが、なかなか判断に窮し、児童生徒たちも大いに盛り上がりました。

苦小牧の水はおいしいとよく言われますが、一体なぜおいしい水が飲めるのか、講師の方々の説明で十分納得できました。」と感想を述べられました。

「このたびの出前講座を機会に、下水道施設の見学を兼ねた学習を計画しています。大変身近な学習を体験させていただいた職員の皆様に改めてお礼

を申し上げます。」と結ばれました。後日、受講された児童生徒の皆さんから、感想文が寄せられました。その中のひとつをご紹介します。

水道水の体験学習について

小学校5年生

この間、あおば学級に来て、苦小牧の水のことを教えてくださってありがとうございました。とても勉強になりました。

苦小牧の東がわと西がわで飲んでいる水が違うことや、最初に水をとったところが幌内川だということなど、教科書にのっていないことまで知ることができてよかったです。

又、今度あおば学級に来て、水のことをいろいろと教えてほしいと思います。本当にありがとうございました。



授業風景